

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾森林鉄道再生事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人上松町観光協会 長野県木曾郡上松町大字上松 159-3
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	855,590 円 (うち支援金 : 680,000 円)

事業内容

森林鉄道の保存活用に向けた取り組みの実施

- ・ 森林鉄道 No.86 の塗装作業
貴重な森林鉄道現役時に活躍した車体の塗装整備を行った。一般参加の日も設けて実施した。
- ・ 座談会
地域の貴重な遺産を継承し活用していくため、営林署 OB による座談会を実施した。
- ・ 遺構調査
町内に残る遺構跡を当時を知る地域住民と散策し、ウォーキングルート整備に向けて調査を行った。
- ・ ボールドウィンカレー
本事業の周知および看板メニューとして試験的に提供した。

事業効果

- ①森林鉄道 No86 の塗装作業が完了し、大手マスコミにも大きく取り上げられたことで問い合わせも寄せられ、来年度以降の観光誘致につながった。
- ②公開塗装作業 : 計 18 名が参加、座談会 : 計 40 名が参加、遺構調査 : 計 7 名が参加。地域内外の参加者が関わり、他同好会や研究者からも注目され、今後も更なる本事業への協力を見込めることになった。保存活動だけでなく一般に向けたイベントを多く開催することにより、地域住民による本事業への興味が高まった。

今後の取り組み

本年度の経験を活かし、塗装整備作業に関わる参加者を増やしていきたい。より多くの地域住民や他県の参加者が関わることにより、森林鉄道の保存と観光活用に向けた動きが高まっていくようにしていきたい。



【塗装作業の様子】

【目標・ねらい】

- ① 森林鉄道の遺産を調査し保存活用につなげることで、地域資源を生かした観光地づくりを目指す。
- ② 森林鉄道を通し、郷土愛を深める。

※自己評価【 B 】

【理由】コロナ禍、および自然災害による作業日の減少と、塗装はがし作業が思うように進まず、当初予定していた他の森林鉄道の塗装整備は来年度に行うことになった。しかし、当初の予想以上の反響が得られ、来年度につながった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある